

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 11 月 25 日			
設置・運営主体	株式会社 パソナフォスター		
設置主体			
経営主体	株式会社 パソナフォスター		
事業所名 (施設名)	キッズハーモニー・坂戸	種別	保育所
所在地	〒 350-0023 埼玉県坂戸市八幡1-3-46		
電 話	049-283-4283		
FAX	049-283-4283		
Email	sakado01@pasonafoster.com		
U R L	https://www.pasonafoster.co.jp/		
施設長氏名	綿貫 咲子		
調査対応担当者	綿貫 咲子 (所属、職名：キッズハーモニー・坂戸、施設長)		
利用定員	48 名	開設年	平成 10 年 10 月 1 日
理念・基本方針			
<保育理念> 変化に柔軟に対応でき、自分で解決する能力とたくましく「生きる力」をもった子どもを育む 1. 尊重・敬意 (Respect) 2. 育む (Nurturing) 3. 信頼 (Trust) 4. 変化への柔軟性 (Openness change) 5. 調和 (Balance) 6. 維持 (Sustainability)			
開所時間 (通所施設のみ)	7 : 00~19 : 00		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	6	6	1		2
1歳児	7	7	1		2
2歳児	8	12	1		2
3歳児	9	12	1		1
4歳児	9	11	1		1
5歳児	9	13	1		1
計	48	61	6	—	—
（注） 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。					

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		12 人	
うち	保育士	11 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	1 人	その他（ ） 人
非常勤職員数		9 人	（常勤換算 2.7 人）
うち	保育士	6 人	（常勤換算 2.7 人）
	保健師・看護師	0 人	（常勤換算 0 人）
	栄養士・調理員	2 人	（常勤換算 2 人）
	その他（ 保育補助 ）	1 人	（常勤換算 0.4 人）
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（2）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 3 人	非常勤： 0 人
	退職	常勤： 0 人	非常勤： 1 人
（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		36 歳	（ 36 歳）
（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		年	（ 4 年）
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	
休日保育	×	
障害児保育	×	
一時保育	×	
地域子育て支援センター	×	
乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）	×	
アレルギー等対応給食	○	—
その他（事業名： ）	×	

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 6 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

0 人

・ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・令和 6 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 1 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	482 m ²	
	児童 1 人あたり	9.2 m ² (計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	396.9 m ²	
	児童 1 人あたり	7.5 m ² (計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
	耐震	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
(4) 建築（含大改築）年 平成 28 年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・運営委員会
- ・保護者懇談会
- ・個人面談
- ・保護者向け配信アプリ『コドモン』を活用（全園児対象）し、毎日いつでも相談を受けられるようになっている。
- ・相談窓口には、園（施設）、本社、第三者委員及び市役所（行政）の複数個所があることを、重要事項説明書（しおり）や、玄関に貼り出し知らせている。
- ・行事後のアンケートを実施し、意見の集約を行っている。
- ・保育参観や保育参加、園見学を行い、園内の子どもの様子、園内の開示を行っている。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・季節行事（はじめましての会、お別れ会）と、お楽しみ会（お誕生日会）を活用して異年齢交流を数回行う。
- ・クリスマス会、ハロウィンなどの行事でのお楽しみ献立を作成する。
- ・ハロウィンイベントでは、同敷地内の商業施設に協力を得て、外部地域交流を行う。
- ・園独自の『ふれあい保育』を行い、未就学児保護者対象に園を開放し、園内を知る機会を作る。
- ・年長児の市内の他保育園との交流、地域の工場見学を行う。

【第三者評価の受審状況】

- ・受審回数（前回の受審時期）

3 回 （令和 3 年度）